

基本理念	コロコロ遊び、しっかり食べきちんと排泄、ぐっすり眠って自己主張のできる子を目指す子ども像とします。 子どもひとりひとりの生きる力を育み、健やかな成長発達の可能性を最大限に引き出していけるように支援します。また、地域社会で生活できるよう子どもとその保護者の育ちを考えるため、親子療育支援を充実させつつ児童発達支援の中核的な拠点としての施設を目指します。		
支援方針	①子ども一人ひとりの個性を尊重し、多職種で連携をとり発達段階に合わせた療育を行います。 ②遊びや体験等を通じて主体性、社会性、自己表現の力を育みます。 ③地域における中核的専門機関として、早期療育及び家族支援を継続的かつ総合的に行うことを目指します。		
営業時間	9時 00分から 15時 30分まで	送迎実施の有無	あり ・ なし
	支援内容		
健康・生活	個々の健康状態を把握するとともに、保護者と連携し生活リズムを整えることや、健康に過ごせるよう活動を計画し取り組みます。 排泄や衣服の着替え等の日常生活動作について、実物提示をしたり声掛けで促したり生活の見通しがとれるように支援していきます。 口腔内機能、感覚等に配慮することや摂食時の姿勢の調整および自具等に関する支援を行い、楽しく食事ができるように環境を整えます。		
運動・感覚	日々の生活の中で活動を通して身体機能の維持・向上をはかります。 専門職が一人一人の子供を評価し、姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化などに関する支援内容を立案し実践していきます。 子どもの障がい特性に合わせて自力での身体移動や歩行、歩行器や車いすによる移動など日常生活に必要な移動能力の向上のために運動に関する支援を行います。 屋内・戸外の活動を取り入れ、場面や季節に合わせた活動を行い経験を広げていくと共に、水・砂・どろんこ等のあそびを通して様々な素材の感触やにおい・音などを感じ五感を育みます。		
認知・行動	身体部位・色・比較・分類・感情概念・数・図形・位置等を生活やあそびの中で取り組んでいきます。 保護者や職員があそびのモデルを見せたり、あそびに誘いかけることで子どもが「やってみたい」と興味を持てるように支援していきます。散歩に行き周りの様子に気づいたり、交通ルールを知らせていきます。 偏食への対応は子どもの状況を家庭との連携の中で把握し、無理のないよう支援します。自園での給食の提供を行うことは様々なメニューを視覚・嗅覚・触覚で経験することも支援として取り組みます。 能動的行動を芽生えさせ、成功体験を積んでいきます。		
言語コミュニケーション	人に伝えようとする意欲を大切にし、伝わった喜びを味わえるように支援します。 場面に応じた表情や身振り、発語から子どもの気持ちを汲み取り、共有・共感することで共同注意などのコミュニケーション能力の向上につなげていきます。 子どもの動作に簡単な言葉を添えて伝え、場面に合わせた言葉の理解や表出につなげられるように支援します。また、絵本の読み聞かせやペープサート劇、ままごと遊び等、想像力を育み言語能力を高められるように支援します。		
人間関係社会性	親子通園や親子保育で保護者との関係性を基盤にして、他者と一緒にあそぶ楽しさを感じられるように支援していきます。小集団の中で並行あそびや職員を介して行うあそびを通して、他児を意識し徐々に社会性の発達を支援します。		
家族支援	連絡ノートや送迎時のコミュニケーションを通じ、ご家庭の様子、困りごとなどを伺います。（保護者より相談等に時間・場所をとっての対応。）子どもの発達・特性・向き合い方に関する学習会を実施します。	移行支援	保育施設への移行を意識しながら、集団生活に必要な力をつけていく取り組みをします。具体的な移行先が決まっている場合には体験入園などを行いながら以降の準備をしていき、移行後も保育所等訪問支援や巡回相談においてフォローしていきます。
地域支援・地域連携	医療機関・岸和田市自立支援協議会・子ども家庭すこやかセンター・保健所との連携を行っています。支援学校や地域小学校からの見学を受け入れています。併用利用先の事業所等と情報交換・共有します。	職員の質の向上	療育会議、職員会議、各種研究会、研修への参加。児童発達管理責任者等の資格取得、更新の支援実施。
主な行事等	入園式・保育参観・運動会・コンサート（自泉会館）・七夕・クリスマス会・おもちつき・卒園式 誕生会・園外保育（公園・海・動物園・水族館・山登り・みかん狩り等）・公共機関（電車・バス）を使ってのお出かけ・お買い物・雨の日のお出かけ・クッキング・公共施設（図書館・だんじり会館） 避難訓練・身体測定・内科健診・歯科健診・耳鼻科健診・眼科健診 個人懇談会・グループ懇談会		